



—学校教育目標—

自ら学び 心ゆたかに たくましく生きる 細野っ子の育成

学校経営  
リーフレット

平成30年度  
安中市立細野小学校

「すすんで勉強 みんな仲よく 元気な子」

細野小の三つの子

「すすんで学ぶ子」「なかよく協力する子」「健康で明るい子」

「すすんで学ぶ子」とは

細野小の「すすんで学ぶ子」は、「よく聞き考え進んで発表する子」「本をたくさん読む子」「学習習慣を身に付けている子」です。  
教科書を中心とした基礎学力を身に付けることはもちろんですが、読書からの間接経験や様々な体験を基に、自ら見つけた課題や課せられた問題を試行錯誤して解決していこうと努力する子です。そして、学んだことを自分の生活の中によりよく生かそうとする子です。

「すすんで学ぶ子」をめざして

間違いを恐れず発表できる雰囲気の学級づくりをし、どの子にもわかる授業を目指して工夫を凝らします。そして、子どもの特性やよさを生かした、きめ細かな指導に努めます。また、思考力・判断力・表現力の育成のために、子どもたちが対話して解決していく授業展開の工夫を図ります。

読解力や表現力の育成及び豊富な間接経験獲得のために、「細野っ子に読ませたい60冊の本」の取組を推進します。

家庭での自主学習も大切です。自主学習にも取り組む習慣を身に付けさせるために、具体的な自主学習の例を示していきます。



6年生 てこのはたらき

「なかよく協力する子」とは

「なかよく協力する子」は、「親切にできる子」「元気にあいさつできる子」「進んで清掃に取り組める子」です。  
思いやりの心を持ち、友だちが困っているとき、それを見過ごさないで声をかけたり、差別やいじめがあったときには、よくないときちんと言えたりできる子です。縦割り班活動においては、下級生の面倒をよく見て、学年を越えて誰とでもなかよくできる子です。  
みんなが使う所をしっかりと清掃できる子は、人のことが思いやれる子です。

「なかよく協力する子」をめざして

人権感覚・人権意識を高める指導を日常的に行います。学級においては、学級の実態や普段の生活から見える課題を念頭に置いて、学活や道徳の時間の充実を図ります。

清掃やサーキットなどの縦割り班の活動では、学年を問わず助け合える集団づくりを行います。

全職員で、子どもたちの日常生活を注意深く見守り、「いじめをしない、させない、許さない」学校態勢づくりに全力を注ぎます。また、人権月間の取組を年2回実施するとともに、児童会中心の「いじめ防止活動」を行います。



4年生 わり算の筆算をかんがえよう

「健康で明るい子」とは

「健康で明るい子」は、「進んで体をきたえる子」「規則正しく生活する子」「最後までやりとげる子」です。  
外で元気よく遊び、早寝・早起き・朝ごはん・朝うんちの基本的な生活習慣をしっかり身に付け、バランスのよい食事を摂る子です。  
名前を呼ばれたら大きな声で返事ができる子でもあります。そして、勉強や運動など、生活する中で、苦しいことにぶつかった時に、負けず、くじけず、乗り越えていける、精神的にも強くたくましい子です。

「健康で明るい子」をめざし

何をするにも、まずは、健康であることが一番です。児童自らが、主体的に自分の健康づくりに取り組み、よく寝・よく食べ・よく遊び・毎日トイレにも行くという基本的な生活習慣を身に付けることを目指して、学級活動や学校保健委員会等で考えさせ、実行できるようにしていきます。

体育の時間に7種のウォーミングアップ運動を取り入れ、総合的な体力づくりに取り組みます。

学校生活の様々な場面で、物事に動じない心や根気強さを身に付けさせるように工夫をします。



縦割り班活動 サーキット



地域合同学校保健委員会「けがをしないための運動」